



SAP Ariba 

機能の概要

SAP 統合サイトの Asset Requisition API

Johan Holm, SAP Ariba

一般提供予定: 2019 年 11 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: SAP 統合サイトの Asset Requisition API

今までの課題

現在、資産データを含む購入申請を一括モードで更新することはできません。また、特定の基準に基づいて資産関連の購入申請や注文書を取得する方法も用意されておりません。

SAP Ariba で問題解決

Asset Management API により、購買ソリューションで資産品目を構成する購入申請またはオーダーが検索され、結果が返されます。この API には、購入申請の資産データおよびその他の内容を更新する機能が含まれています。

- 資産購入申請のクエリ
- 資産注文書のクエリ
- 資産詳細を含む購入申請の更新

主なメリット

この機能を使用すると、クライアントアプリケーションで資産品目ベースの購入申請を外部処理し、資産レコードを作成することができます。外部で作成された資産レコードは、Requisition API を介して SAP Ariba Procurement ソリューションに送信できます。これにより購入申請の資産品目が資産関連情報により適切に更新されるようになります。

対象ソリューション

- SAP Ariba Buying
- SAP Ariba Buying and Invoicing

関連情報

この機能を有効にするには、貴社の指定のサポート担当 (DSC) に連絡してサービスリクエスト (SR) を提出してください。

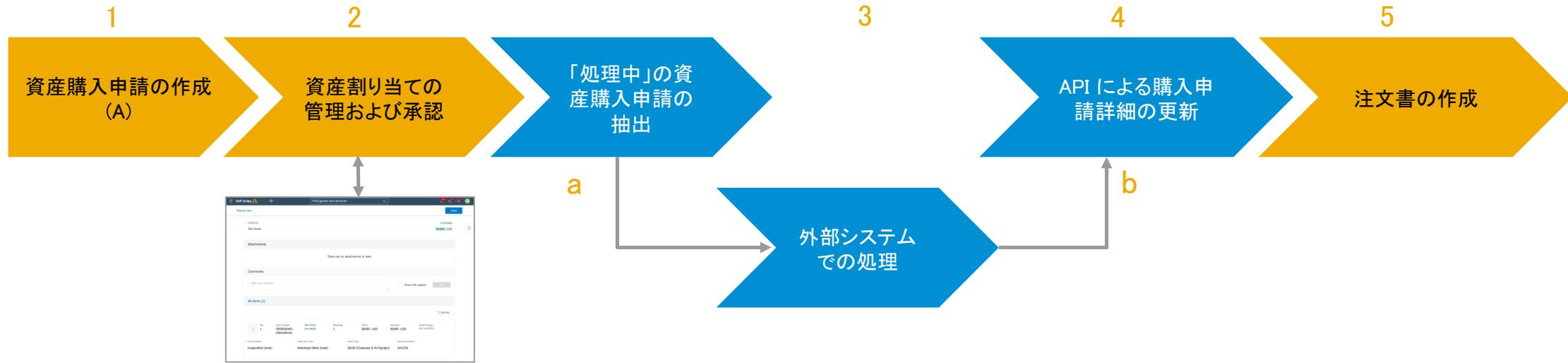
- 参照: CP-9154

前提条件と制限事項

- この機能には、SAP Ariba Developer Portal 経由でアクセスします。
- この API は種類が資産の場合のみ有効です。
- この API は、SAP Ariba Buying and Invoicing の SAP 設定専用です。
- 更新できるのは、資産明細の資産番号のみです。

機能の概要

説明: SAP 統合サイトの Asset Requisition API



この機能で導入される API により、以下の処理が可能になります (API には SAP Ariba Developer Portal 経由でアクセスします)。

- 資産明細を含む購入申請のクエリ (注文書に対するクエリを実行できる同様の API もあります。)
 - 状況が「処理中」の購入申請のみエクスポートされます。
 - フィルタを割り当てることができます。
 - 時間間隔を使用 (作成/更新) して購入申請 (および注文書) のエクスポートを実行することもできます。
 - エクスポート対象は購入申請の資産明細のみです。
- 購入申請上の資産明細の更新
 - この API により、資産番号を更新することができます。

プロセス

- 申請者が勘定科目カテゴリ A (資産) の購入申請を提出します。申請は資産マネージャに送信されます。
- 資産マネージャが資産ワークベンチにアクセスし、作業 (状況が「処理中」の申請) を最終的に確定して終了します。
- API により申請が抽出されます (上記の #a および #b)。
- API により購入申請が更新され、[完了] タブに移動します。
- 通常のワークフローを続行します。